

第71期

報 告 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	5
連結財務諸表	
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	7
連結株主資本等変動計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
個別財務諸表	
個別財務諸表（要約）	10
個別株主資本等変動計算書	11
会社の概要、株式の状況、役員	12

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、当社第71期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

<企業集団の事業の経過およびその成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初、震災復興に伴う需要にも支えられ、持ち直しの動きが見られましたが、その後、海外経済の減速や円高に伴う輸出の減少などにより景気は後退局面に入りました。しかし、年明け後は、国の景気刺激策への期待や円高修正などにより、景況感には改善の動きが見られるようになりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の品質や安全性に対する消費者意識が高まる一方、デフレ環境下で消費者の節約志向が一層強まり、特に嗜好品などに対する購買意欲が低下して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様から支持され満足いただける高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、震災後の特需によって販売が一時的に盛り上がった前連結会計年度と比べ消費が低調に推移し、前連結会計年度比8.8%減の19,216百万円となりました。営業損益につきましては、事業の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少ならびに平成22年に稼働しました3工場の減価償却費の負担などにより、192百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は126百万円の営業利益でありました。また、経常利益は前連結会計年度に比べ94.9%減の31百万円となり、当期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益など、特別損失に固定資産除売却損を計上しました結果、前連結会計年度に比べ87.3%減の47百万円となりました。

<企業集団のセグメント別業績>

食品事業

当連結会計年度におきましては、主力の菓子部門は各種の新商品を投入して営業施策を積極的に展開しましたものの、消費者マインドが冷え込むなか企業間競争がますます加速して減収となりました。チョコレート類は、新商

品の「ドーナツパーティーチョコレート」や「味わいらムレーズンチョコレート」などは消費者の支持をいただき好調に推移しましたが、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などが苦戦を強いられ、減収となりました。キャンディ類は、大口の受託先が生産を海外に移転したことが影響して売上が落ち込みました。

粉末飲料部門は、スティック状の分包タイプの商品を充実させて拡販に努めましたが、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などが販売競争激化の影響を受けて減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、新商品を投入して需要の掘り起こしを図りましたが、売上が伸びず減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、平成22年の新工場稼動以降、順調に売上を伸ばしてまいりましたが、主力のパウムクーヘン類やゼリー類は前連結会計年度の震災特需の反動も影響し減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前連結会計年度に比べ9.3%減の16,914百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少ならびに減価償却費の負担などにより、前連結会計年度に比べ48.3%減の335百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、海外企業との販売競争が激化するなかで、原子力発電所の事故に伴う風評被害で失った市場の一部を取り戻すことができず、厳しい状況が続きました。このような環境下で、販路拡大を目指して精力的な営業活動を展開しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」、脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦を強いられ売上を落としました。

しかし、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」やMRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾピスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする「デキストランマグネタイト」の出荷が増加して、増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前連結会計年度に比べ2.8%減の1,984百万円となり、営業損益につきましては、売上高の減少や減価償却費の負担などにより17百万円の損失となりました。なお、前連結会計年度は29百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸倉庫や賃貸工場の契約の終了による収益の減少などにより売上高は前連結会計年度に比べ17.7%減の317百万円となり、営業利益は前連結会計年度に比べ34.2%減の123百万円となりました。

<設備投資および資金調達の状況>

当連結会計年度の設備投資総額は692百万円で、主なものは小牧工場における粉末飲料製造設備の新設ならびに枇杷島工場における粉末飲料製造設備の更新などであります。これらに必要な資金は、自己資金および金融機関からの借入金により調達いたしました。

<対処すべき課題>

当社グループを取り巻く環境は、国の経済対策による景気回復が期待されるものの、低価格競争が加速するなかで原材料価格やエネルギーコストの上昇が予想されるなど、先行きは厳しい状況が続くものと懸念されます。また、消費者の健康への関心や安全性志向がますます高まるなかで、食品の安全性や品質の向上への取り組みが一層強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様のニーズに的確にお応えできる安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、各事業分野にわたり生産性の向上やコスト削減を進めて、強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業の持続的な発展と企業価値のさらなる増大を目指してまいります。具体的な取り組み課題は以下のとおりであります。

* 食品事業につきましては、消費の低迷と商品の店頭価格下落という厳しい環境下ではありますが、消費者の多様化したライフスタイルや価値観にお応えできますよう、市場環境を見据えた商品開発および販売戦略に取り組んでまいります。これらにより、お客様の要望を的確に捉えた高付加価値商品の提供と売上規模の拡大を推進してまいります。同時に「アルファベットチョコレート」や粉末飲料の「レモンティー」、また連結子会社である株式会社エースペーカーリーの「厚切りバウムクーヘン」などの中核ブランドのさらなる強化はもとより、グループ各社の連携を一段と強めてシナジー効果を最大限に発揮して、食品事業の強化と拡大を目指してまいります。また、平成22年に新工場を稼働させた株式会社エースペーカーリーにおきましても、積極的に営業活動を推進して販売シェアのさらなる拡大を図り、業績の向上に努めてまいります。さらに、原材

料や商品の安全性はもとより、品質管理や生産の体制を一層強化して、お客様に安心してお買い上げいただける高品質な商品をお届けできるよう注力してまいります。

* 化成事業の酵素部門につきましては、主力商品であるチーズ用凝乳酵素「レンネット」の海外各国に向けた積極的な営業活動を通じて、長い使用実績のある既存商品の市場拡大と本格的に採用が始まった改良次世代商品のさらなる普及を図り、販売シェアの拡大に努めてまいります。同時に「レンネット」を製造する2工場の生産の効率化と生産能力の増強により、販売拡大に対応し、収益力の強化も図ってまいります。また、脂肪分解酵素「リパーゼ」やリン脂質製造酵素「ホスホリパーゼ」の性質改良と新規用途開発を促進することによって、これらの商品の販売拡大に取り組んでまいります。薬品部門では、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする「デキストランマグネタイト」の特徴と製造技術を活かし、乳癌転移検出等への用途拡大や新たな造影法で使用する磁性体の開発を目指しております。また、医薬品などの原料である「デキストラン」の品目拡充と特に海外での販売拡大、および「デキストラン」から合成したデキストラン誘導体の品目拡充による化粧品素材や臨床検査用試薬などでの供給拡大も推進してまいります。さらに混合飼料「ヘルシーフレンド」およびその次世代品の用途開発と販売促進にも引き続き取り組んでまいります。また、いずれの分野でも国内外からの安全に対する要請が強まっており、生産性の向上とともに、生産管理、品質管理の向上にも取り組み、事業基盤の強化に努めてまいります。

今後とも時代の変化に対応し、お客様に信頼され社会に貢献できる企業として継続的に発展するよう、全社を挙げて努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年6月

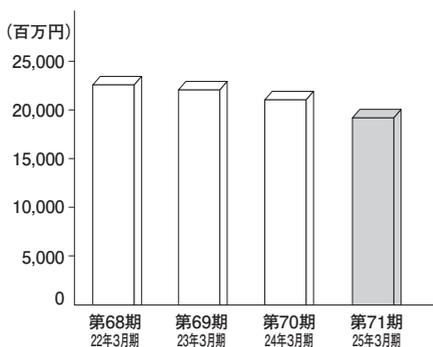
代表取締役社長 水谷彰宏

連結業績の推移

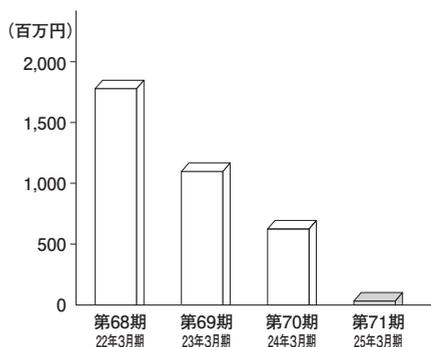
区 分	第 68 期 (平成22年3月期)	第 69 期 (平成23年3月期)	第 70 期 (平成24年3月期)	第71期(当期) (平成25年3月期)
連結売上高(百万円)	22,605	22,088	21,069	19,216
連結経常利益(百万円)	1,777	1,096	624	31
連結当期純利益(百万円)	1,226	708	377	47
連結ベースの1株当たり当期純利益(円)	72.95	42.13	22.46	2.85
連結総資産(百万円)	46,619	44,230	43,627	45,850
連結純資産(百万円)	32,326	30,744	31,172	33,378

(注) 連結子会社3社
株式会社エースベーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

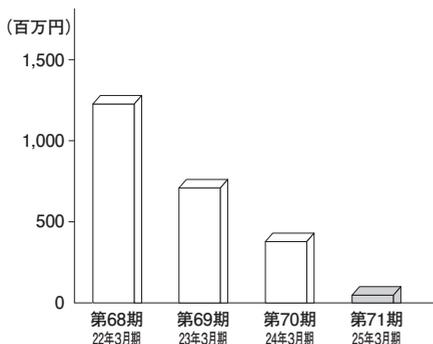
連結売上高



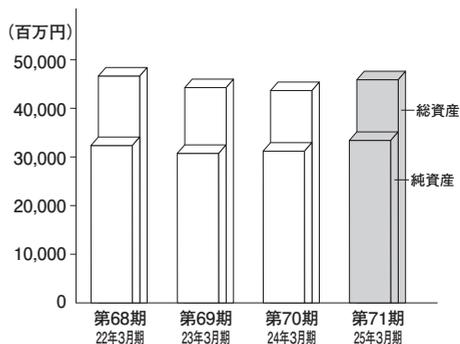
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産／連結純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成25年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,868	流動負債	5,242
現金及び預金	2,821	支払手形及び買掛金	1,872
受取手形及び売掛金	4,062	短期借入金	580
有価証券	785	1年内返済予定の長期借入金	914
商品及び製品	880	未払金	177
仕掛品	354	未払費用	1,494
原材料及び貯蔵品	709	未払法人税等	27
繰延税金資産	250	返品調整引当金	7
その他	23	その他	167
貸倒引当金	△20	固定負債	7,229
固定資産	35,981	長期借入金	1,922
有形固定資産	12,120	繰延税金負債	2,784
建物及び構築物	5,054	退職給付引当金	2,139
機械装置及び運搬具	3,852	役員退職慰労引当金	16
工具器具及び備品	64	その他	365
土地	3,113	負債合計	12,471
建設仮勘定	34	(純資産の部)	
無形固定資産	81	株主資本	26,507
投資その他の資産	23,779	資本金	1,313
投資有価証券	23,374	資本剰余金	76
長期貸付金	30	利益剰余金	33,662
繰延税金資産	292	自己株式	△8,544
その他	156	その他の包括利益累計額	6,640
貸倒引当金	△73	その他有価証券評価差額金	6,640
資産合計	45,850	新株予約権	230
		純資産合計	33,378
		負債・純資産合計	45,850

連結損益計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		19,216
売 上 原 価		13,410
売 上 総 利 益		5,806
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		5,998
営 業 損 失		192
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	430	
そ の 他	107	538
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	37	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	210	
そ の 他	65	313
経 常 利 益		31
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	150	
受 取 補 償 金	73	223
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 売 却 損	85	85
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		169
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	211	
法 人 税 等 調 整 額	△89	121
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		47
当 期 純 利 益		47

連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,950	△8,535	26,804	4,207	4,207	160	31,172
当 期 変 動 額									
剰余金の配当			△336		△336		—		△336
当期純利益			47		47		—		47
自己株式の取得				△8	△8		—		△8
自己株式の処分			△0	0	0		—		0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—	2,432	2,432	70	2,502
当期変動額合計	—	—	△288	△8	△296	2,432	2,432	70	2,206
当 期 末 残 高	1,313	76	33,662	△8,544	26,507	6,640	6,640	230	33,378

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

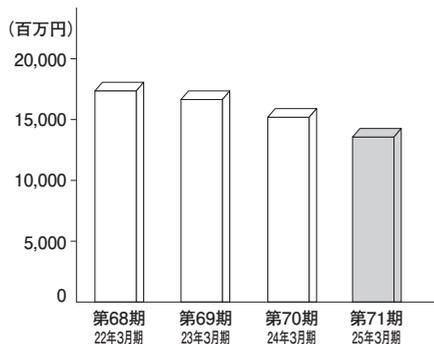
(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	436
現金及び現金同等物の期首残高	2,051
現金及び現金同等物の期末残高	2,488

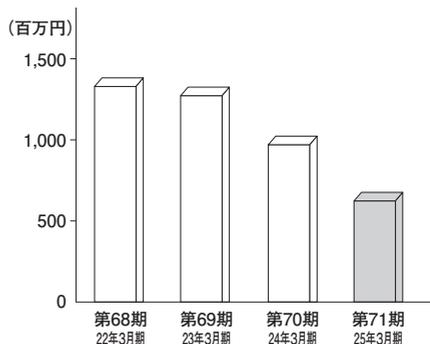
個別業績の推移

区 分	第 68 期 (平成22年 3 月期)	第 69 期 (平成23年 3 月期)	第 70 期 (平成24年 3 月期)	第71期(当期) (平成25年 3 月期)
売 上 高 (百万円)	17,327	16,613	15,161	13,528
経 常 利 益 (百万円)	1,328	1,271	969	622
当期純利益 (百万円)	936	903	607	575
1 株当たり当期純利益 (円)	55.70	53.72	36.14	34.22
総 資 産 (百万円)	44,263	40,184	39,910	42,957
純 資 産 (百万円)	31,177	29,768	30,443	33,172

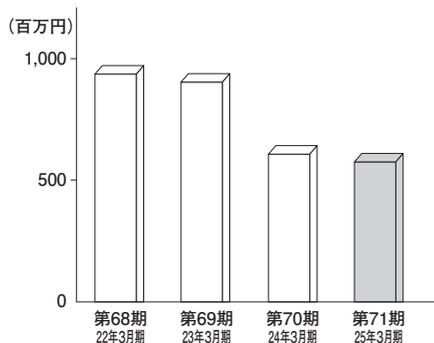
売上高



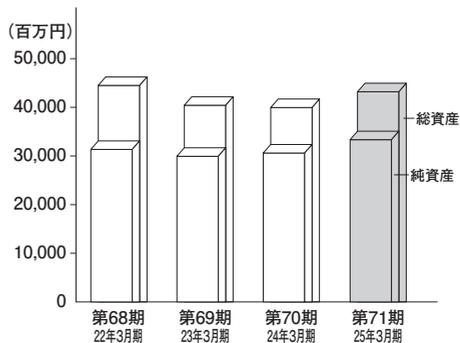
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



個別財務諸表（要約）

個別貸借対照表

（平成25年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	8,575
固定資産	34,381
有形固定資産	10,551
無形固定資産	64
投資その他の資産	23,766
資産合計	42,957
（負債の部）	
流動負債	3,955
固定負債	5,828
負債合計	9,784
（純資産の部）	
株主資本	26,287
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	33,441
自己株式	△8,544
評価・換算差額等	6,655
新株予約権	230
純資産合計	33,172
負債・純資産合計	42,957

個別損益計算書

（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	13,528
売上原価	8,699
売上総利益	4,828
販売費及び一般管理費	4,693
営業利益	135
営業外収益	562
営業外費用	75
経常利益	622
特別利益	223
特別損失	85
税引前当期純利益	760
法人税、住民税及び事業税	208
法人税等調整額	△23
当期純利益	575

（注）1株当たり当期純利益 34円22銭

個別株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金		
当 期 首 残 高	1,313	76	33,202	△8,535	26,056	4,227	160	30,443
当 期 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当			△336		△336			△336
別 途 積 立 金 の 積 立			—		—			—
当 期 純 利 益			575		575			575
自 己 株 式 の 取 得				△8	△8			△8
自 己 株 式 の 処 分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					—	2,427	70	2,498
当 期 変 動 額 合 計	—	—	238	△8	230	2,427	70	2,729
当 期 末 残 高	1,313	76	33,441	△8,544	26,287	6,655	230	33,172

会社の概要（平成25年3月31日現在）

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	361名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー（愛知県小牧市） 名糖乳業株式会社（福岡県飯塚市） プリンスゴルフ株式会社（福岡県宮若市）

株式の状況（平成25年3月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	8,725名

役員（平成25年3月31日現在）

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	小島寛志
取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	山下喜郎
常勤監査役	佐野佳之
監査役	寺澤弘
監査役	稲越千束

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役寺澤弘氏および稲越千束氏は、社外監査役であります。

幅広い年代にご支持頂ける 豊富なラインアップ!



アルファベットチョコレート



おいしさ
こだわり

自社工場でカカオ豆から一貫生産。
独特のカカオのコクと薫りを持ち味
とした本格派のチョコレートです。

株式会社 エスベーカー



レモネードC

さわやかレモンのおいしさがいっぱい。



かわいいどうぶつえんゼリー

いろいろなフルーツ味がひろがるおいしさ。

株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 公告の方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで

6月中

電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 株主名簿管理人

名古屋・東京

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させていただきます。

- | | | | | |
|-----------|----------|-------|------|------------|
| ●100株以上 | 1,000株未満 | …………… | 小売価格 | 1,500円相当商品 |
| ●1,000株以上 | 5,000株未満 | …………… | 小売価格 | 3,000円相当商品 |
| ●5,000株以上 | …………… | …………… | 小売価格 | 5,000円相当商品 |

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>

環境に配慮し、植物油インキ
を使用しています。

